



5つのステップ

何をするのか、先に見ておくと安心です

ステップ

2

歯科医院へ予約する

対象医療機関の中から受診したい歯科医院を選び、予約します。予約のときに、所要時間や持ち物を確認しておくとう安心です。



"町の歯周病検診を受けたい"と伝えればいいんですね。



ステップ

4

口の中を確認する

検診では、
●歯ぐきの腫れや出血の有無
●歯周ポケットの深さ
●歯石の有無
などを確認します。

歯周ポケットは、歯と歯ぐきの間にあるすき間のことです。このすき間が深くなると、歯周病が進んでいる可能性があります。



歯ぐきの状態を見るんですね。治療とは異なるようです。



ステップ

1

受診券を確認する

対象者には、すでに町から歯周病検診の受診券(はがき)が届いています。受診券には、対象者であること、受診方法、持ち物、実施期間などが書かれています。まずは内容を確認しましょう。



受診券を無くしてしまった場合は、保健センターへ連絡を。



ステップ

3

受け付けをする

受診日になったら、歯科医院へ行きます。受け付けでは、受診券などを提出し、必要な手続きを行います。



持ち物は、受診券・料金・マイナ保険証または資格確認書です。



ステップ

5

結果を聞く

検診後は、結果の説明を受けます。今の口の中の状態、歯ぐきの状態、今後気を付けた方がよいことなどを確認します。必要に応じて、治療や定期管理について案内されます。



今の状態を知って、これからのケアにつなげるんですね。



Monthly Pick Up

10人に9人以上が受けていません 歯周病検診、受けてみませんか

町では、節目年齢の人を対象に、歯周病検診を実施しています。しかし、昨年度の受診率は7.4%。10人に1人にも満たない状況でした。では、なぜ受診につながらないのでしょうか。

「歯が痛いわけではないから」
「食事普通にできているから」
「歯医者さんは、痛くなってから行くところだと思っているから」
「そもそも、歯周病検診で何をするのか分からないから」

そんな気持ちが、受診を遠ざけているのかもしれない。そこで今回は、保健師が実際に歯科医院で話を聞きながら、歯周病検診の流れを確認してきました。まずは「分からないから不安」を少しずつほどこいていきましょう。

問 役場健康づくり課(保健センター) ☎88-5533

正直、私も
「歯周病検診って具体的に
何をするんだろう」
って思っていました(汗)。
分からないと、
ちょっと不安ですね。

受けない理由、こんなことはありませんか？

- ☐ 歯が痛くないから、まだ大丈夫だと思っている
- ☐ 歯医者さんは、痛くなってから行く場所だと思っている
- ☐ 歯周病検診で何をするのか分からない
- ☐ 痛そうで少し不安
- ☐ そのまま治療になって、お金がかかりそう
- ☐ 受診券が届いていたら、そのままになっている

ひとつでも当てはまる人にこそ、
知ってほしい検診です。

役場健康づくり課
健康推進係
(保健センター)
飯塚保健師



「痛くなる前に来てほしい」

館林邑楽歯科医師会より

歯科医院は、治すだけの場所ではありません

歯科医院は「歯が痛くなったときに行く場所」というイメージがあるかもしれませんが、もちろん、痛みや虫歯の治療も大切です。しかし、歯や口の健康を守るためには、悪くなる前から治療するだけでなく、悪くなる前に状態を確認することがとても大切です。

特に歯周病は、痛みが出にくいまま進むことがあります。自分では気付かないうちに歯ぐきの炎症が進み、歯を支える骨に影響が出ていることもあります。また、糖尿病などの生活習慣病とも関わりが深い病気です。だからこそ「痛くなつてから」ではなく、「痛くなる前に」口の中を確認してほしいと思います。

歯周病は、歯を支える土台の病気です

ところで、「虫歯」と「歯周病」は異なることをご存じですか。

「虫歯」は歯そのものが壊されていく病気ですが、「歯周病」は歯を支える歯ぐき（歯肉）や骨（歯槽骨）が壊されていく病気です。そして、歯周病は歯を失う大きな原因の一つでもあります。



ます。

歯周病が進行すると歯の動揺が強くなり、歯を失うことにもなりかねません。かむ力や飲み込む力が低下すると、食べにくさや栄養の偏りにつながることがあります。また、歯ぐきの炎症を放置することは、口の中だけでなく全身の健康にも影響するおそれがあります。歯周病は毎日の歯みがきや食生活、喫煙などの生活習慣とも深く関わる病気です。

食べる、話す、笑う。

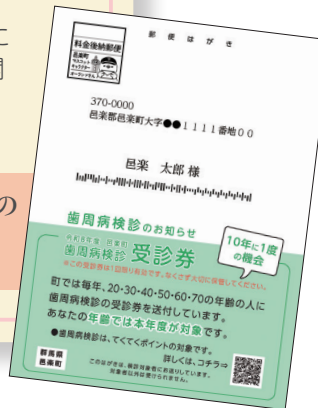
そのそばに歯があります

歯の健康は、食べることだけでなく、話すこと、笑うこと、人と会うことにも関わっています。歯を失ったり、かみにくくなったりすると、食べられるものが限られ、栄養の偏りや食事の楽しみの低下につながることもあります。

町の歯周病検診は、歯と口の健康を見直すきっかけです。対象となる節目の年齢に、ぜひ一度、自分の歯ぐきの状態を確認してみてください。

節目の年齢に 口の中を 確認する機会

対象者には、こちらの受診券（はがき）を5月中旬に送付しました。



邑楽町 歯周病検診

対象者 (年齢は年度末年齢)	料金 (支払いは歯科医療機関窓口)
20・30・40・50・60歳	500円
70歳	無料

※歯科治療が必要な場合は保険診療となり、治療費がかかります。

■ 検診期間 令和8年度は、11月30日⑤まで

■ 検診内容 問診・口腔診査

■ 持参物 ①はがき(受診券)

②マイナ保険証または資格確認書

■ 実施場所 館林邑楽歯科医師会に加入している歯科医院

※邑楽町内の歯科医院に限らず、対象医療機関で受診できます。一覧は左のQRから。



歯周病検診は館林邑楽地域の
1市5町で実施しています。

歯周病検診は

「治療」ではなく「確認」です

歯周病検診を考え始めたとき、私自身も最初に思ったのは「具体的に何をやるんだろう」ということでした。

歯科医院で受ける検診と聞くと、少し身構えてしまうところがあります。痛そう、何をされるのか分からない、そのまま治療になるのかな。そう感じる人がいても、不思議ではないと思います。私も、町民の皆さんにお知らせする立場でありながら、検診の自身を自分の言葉で説明できるほど分かっていったわけではありませんでした。

今回改めて確認してみても、歯周病検診は「怖いことをされる検査」というより、今の自分の口の中を知るための確認なのだと感じました。歯ぐきの状態や歯周ポケット、出血の有無など、自分では気付きにくい変化を見もらう機会です。

これから自分の歯で食べる、人と話すこと、笑って過ごすこと、その毎日のそばに歯と口の健康があります。今回の取材を通して、歯周病検診は「今の自分の口の中を知るための確認」なのだと感じました。



Q 痛いですか？

歯ぐきの状態を確認するときに、少しチクツとすることがあります。不安な場合は、受診時に伝えてください。



Q 歯みがきしていれば大丈夫ですか？

歯みがきは大切ですが、自分では気付きにくい磨き残しや、歯ぐきの変化があります。検診は、自分の口に合ったケアを知るきっかけにもなります。



Q 検診に行ったら、そのまま治療になるのでしょうか？

歯周病検診は、口の中の状態を確認するための検診です。治療が必要と判断された場合は、説明を受けたうえで、別途保険診療として治療を受けることになります。検診の費用と治療の費用は別になります。